

# 井戸端だより

第 34 号

発行日：2001.6.28

発行：くらしの学習会

道すがら、あじさいの前でつい足をとめて眺めてしまっています。

雨にぬれる姿も風情がありますね。

会報第 34 号をお届けします。



## 第 34 号 目 次

合併問題の今	_____	P2
おさんぽ会に参加して	_____	P3
環境についての専門家の話	_____	P7
ごみを買っている!?	_____	P10
牧野植物園を訪ねて	_____	P12
蝶の本出版について	_____	P13
出会い塾 マダガスカル留学生 ハムさんを迎えて	_____	P16
話題の歴史教科書を読んできました	_____	P17
会計報告と今後の予定	_____	P20

## 合併問題の今

このところ毎回紙面をにぎわしている合併問題、前号までの動きの後、町が出したアンケートに対し松山市・川内町の回答が戻ってきました。それをもとに、町は、今、町内各地区で、説明会および意見聴取（地区別座談会と称する）を行っている最中です。そのような中、先日6月11日、県主催の「愛媛県市町村合併推進要綱」の住民説明会が松山地方局で行われました。くらしの学習会からは会員4名が参加し、県総務部市町村課長（以前直接お話しをうかがったことのある四宮課長）の説明を聞いてきました。カラー刷りの立派な冊子をもとに今までうかがってきたことを繰り返し聞いているという感じで目新しい点は特にありませんでしたが、政府の方針としては小泉内閣になってより強く合併を推進しているというようなことが伝わってきて、全国3000の地方自治体を1000にさらには最終的には300程度にしたいという話も出てきました。少子高齢化時代に備え若者が年寄りを支えられる構造にするのが合併の意義であり足腰の強い受け皿としての地域作りととらえるべきで、単に財政問題だけととらえて欲しくないという課長は何度も繰り返しておっしゃいましたが、聞いている方としては、住民の意向はそこにはなく国の意向のみが優先されているという感じでした。更に合併は避けられない絶対のものという感を新たにさせられた気がしました。又問題は、既に総論から各論へと入っているのだという感じでした。会場では、財政問題に関する質問がなされました。国は特例措置として、期限までに合併をすれば様々な財政措置をとって助成すると言っているが国の財政状況がきわめて厳しい中その様なことが本当にしてもらえるのかといった不安も出されましたが、これに対し課長は早い者がちということで早くやって早くお金をもらったほうが勝ち、後のことは分からないとおっしゃいました。無責任のように聞こえますが、国の財政状況を考えれば絶対大丈夫とは言えないところに課長の正直な気持ちが含まれているように思った次第です。

さて、私たち重信町のことに戻って考えるてみると、具体的に出てきた合併パターンの2案、松山市に併合される場合と川内と合併する場合が要綱では示されているわけですが、仮に川内との合併を選んだ場合でも、国の大きな方針のもとでは、それだけでは将来にわたっては済まないのではないかと、財政措置を考えてもするならば早くした方がいいらしい、しかし一方具体的な数値の比較だけ見れば、松山との合併は、確実に住民の負担が増えることは否めない、更

に、松山の周辺地域となり下がり、行政サービスは届きにくくなるのではない  
か、迷惑施設のみやってくるのではないかという恐れが胸をよぎります。また、  
松山と併合される場合人口が 50 万人を超えることになり住民税の均等割り税  
率が大幅にアップすることになり、それは併合する側の松山の住民にも大いに  
影響をもたらすわけでこちらが併合合併を望んでも、松山の市民が果たしてイ  
エスというのか、もしノーと言ったらどうなるのかなどと色々疑問がわいてき  
ました。松山と合併する場合、我々重信住民としては川内町と共にあるまとま  
りを持ち、今までの地域性、特色を失わずに、いわば松山の副都心的な性格が  
留保されたまま併合されれば一番いいのですが、サービスは低下し、土地に余  
裕があるということで迷惑施設を押しつけられるようになったらこれは問題だ  
と思うのです。まだ、私の地区では地区別座談会は行われていませんが、今後  
この様な点について特に質問してみたいと思っています。 (T・H)

#### 春のおさんぽ会

4月28日13:30分 町民会館に集合。小学生3名と会員6名の参加でした。

みんなの広場まで車で移動して 上村大橋を歩いて渡り かすみの森へ到着。

龍沢泉の大掃除の時の話をしたり(当時 この泉は ごみ箱のようになっていて

黙認された不法投棄場所でしたが 現在では 下草が 定期的に 刈り込まれ とてもきれ

いに管理されています。子供たちに残してやれる泉になりました。

私たちは 1日だけのお手伝いでしたが 現在 管理を続けておられる皆さんには

大変感謝したいと思います。)

さて 今回のおさんぽ会では2種類のゲームをしました。

① 袋のなかみあてっこゲーム

袋の中に手を入れます。目で見てはいけません。そうっと 優しくさわって下さい。

この中に入っている植物と同じものを見つけましょう。

◎バンダナくらいの布を袋状にぬったものを

5個位用意します。ゲーム開始時間を考えて あ

らかじめ 植物を採取しておきます。



② しんけいすいじゃくゲーム

バンダナの上に植物が数個置いてあります。

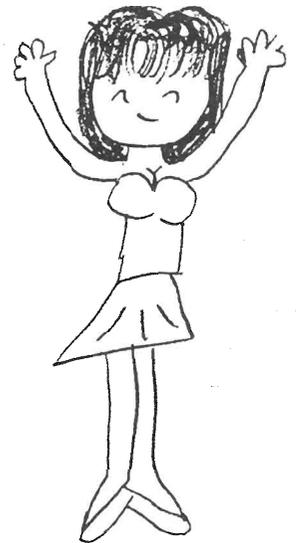
じいっと見つめます。何分位かなー。

しっかり覚えます。さあ 同じ物を見つけましょう。

◎全部見つける事は難しいけれど まあまあ 気軽に  
楽しみました。こつとしては 最初に 何個あるか数える  
ことでしょうか。



ゲームに夢中になっている間に 指定されたかすみの森の土手を上ったり  
下りたり。日ごろの運動不足解消にもなりました。事前準備をして下さっ  
たSさんに感謝。 (M・T)



## おさんぽ会での感想

今日の、春のおさんぽ会では、おふくろさんゲームや、  
バンダナゲームなどをしておもしろかったです。

おふくろさんゲームは、ふくろの中の物を手だけであらわして  
そのふくろの中の？をさがすゲームです。

バンダナゲームは、バンダナの中の物を1分間よく見て  
それをさがすゲームです。春の草や花など自然と遊ぶこと  
ができてよかったです。

---

私は、今日のおさんぽ会に始めて、参加しました。

最初は、ドキドキしながら、どんな人達があつまるのだろう、

うまく話しかけ、できるだろうかと、心配していました。

けど、おさんぽ会に参加した人達と、楽しいゲームを、

おもしろい話して、もり上がりながら、しました。

「おふくろゲーム」「バンダナゲーム」、など、自然

の物で、あそぶ、楽しいゲームは、今日、の、(4月28日(土))を

、楽しい一日に、してくれました。

ミカウやったゲームはふくろに花をいれて手  
中にいれて花をあてるやつでしたあとつは  
はんかちとはんかちをあかして その中に花をいれて  
おぼえてみつける ゲームでした。  
わたしの、好きなゲームははじめにやっやっして  
きたゆいなの



この一ヶ月の間に、環境についての専門家の話を聞く機会を得た。

\* 愛大医学祭の市民講座で、愛大農学部脇本忠明教授から 5/26  
身近にあるダイオキシンの発生源  
ダイオキシンの摂取源およびその影響について

- ・ 人間が作った「最強の毒」ダイオキシン（有機塩素化合物）
- ・ 1960年代のベトナム戦争（1972年終戦）でアメリカ軍が撒いた枯葉剤に混じっていて沢山の奇形児が生まれた。
- ・ 日本国内で表面化したのは、1983年、元愛大立川涼教授達が、ごみ焼却施設から、高濃度で排出されている実態を報告したことがきっかけとなった。
- ・ 1987年、脇本教授が研究を始め、翌年ベトナムへ調査に。スライドで見た、母親の胎内で奇形に育っていく胎児の様子、自然界の物質に奇形が生じている様子など目を覆いたくなる程だった。
- ・ 日本での、ダイオキシンの発生源は、各種のごみ焼却炉、塩素漂白過程、塩素殺菌過程、塩素系化合物（PCB、農薬など）の不純物、建築物の火災などが考えられる。
- ・ ダイオキシンの発生量が最大のものは、都市ごみ焼却炉。住宅近くに点在する小型焼却炉は、高濃度のダイオキシンを含む煙が生活環境に直接流れ込んでくるという点で大きな危険性をはらんでいる。
- ・ 日本全土に降る年間のダイオキシンの量は、松山市での降下量をもとに推定したところ、1.5キログラムになる。これは、ベトナム戦争で、米軍が撒いた年間散布量の10分の1に相当する。

\* EM講習会 琉球大学比嘉照夫教授から 6/15  
『甦る未来』 ・ EMによる無駄のないライフスタイル  
・ EMによる農業環境革命

- ・ EMにたどりつく前は、化学肥料、農薬のエキスパートだった。1970～75頃から、これらを使うことの悪循環が見えてきて、微生物の検討を始めた。10年かけて、EMにたどり着き学会で発表したが、鳩に豆鉄砲の感じ。そこで実例を沢山作った方がいいと思い、1982年自然農法国際研究開発センターの理事になったのを機に、技術を進め、広めていった。
- ・ EMとは、有用な微生物がたくさん集まって、共存共栄的な軍団を作っているというのがEMの概略。
- ・ EMの原点は、あくまでも生きていくベース。食べ物、環境、健康の3つをリンクして守っていくということ。
- ・ EMの力：①抗酸化力 ②非イオン化 ③磁気に共鳴（波動）  
～ 使えば使うほど累積する。～

- ・ 北朝鮮は1996年からEMを本格的に普及をはじめ、2年後には、85万haの土地で、EMを使って農作物の栽培をし、すさまじい効果をあげている。
- ・ 昨年の沖縄サミットで「世界をリードするEMの技術」として、30分ビデオで紹介した。～日本政府も認めて来だした～
- ・ 愛媛県では、県からの補助金を得て、工業技術センターで26の企業が参加・研究し、既に八幡浜のかまぼこ業界で成果をあげている。
- ・ 瀬戸内地域環境蘇生協議会が発足（関係12の県に働きかけ）
  - 今治地域——タオル染色排水で汚染され、ヘドロがたまっていた川の上流で、ボランティアがEM拡大活性液を定期的に流し始めたら、ヘドロが消え、水もきれいになり、生態系が甦ってきた。
  - 西条市——市の下水处理場でEM浄化法を取り入れた結果、コストも安く、水質も著しく改善され、放流水の塩素消毒も殆ど必要が無くなったばかりか、アサリやシジミが目立って増えてきた。
- ・ 誰にでもできる環境浄化
  - ボカシを使って——台所ゴミ、生ゴミの堆肥化⇒野菜・花づくり
  - お米のとき汁EM醗酵液を使って——下水を浄化
  - ～ そのまま流せば汚染源、EM活用で浄化源 ～

\* シンポジウム2001 えひめ 循環型ゼロエミッション社会への出発 6/20  
 基調講演：環境革命と日本の未来仕事 ノンフィクション作家 山根一真氏  
 パネルディスカッション：

いま私たちにできること～産・官・学、市民の取り組みから

パネリスト：鶴浦真沙子（国連大学高等研究所ゼロエミッション担当）

立川涼（愛媛県環境センター所長）

中村恭三（アサヒビール環境文化推進部長）

加藤公子（生活者グループゆう・ゆう・ゆう代表）

コーディネーター：小松洋（松山大学人文学部助教授）

- ・ 持続可能な発展へ向けた経済・社会システムの再編が重要。
- ・ 1901年に八幡製鉄操業開始から日本の工業化がはじまり、都市化し、消費拡大へと進んできた。
- ・ エネルギーを使わないための技術開発はやればできる。20世紀の日本の技術はすばらしいものがある。分散型エネルギー（井戸・風・雨水などの利用）
- ・ 少々値段が高くても、環境にいい商品を買うことが重要。
- ・ 人間が生きてきて、いい環境をつくる現場に立ち会っている、エコ時代を作る楽しさを共有しよう。
- ・ 企業はリサイクルは儲けになる。
- ・ アサヒビールでは、1996年頃から企業の意識向上を測り、コマースで宣言し、トップダウンで徹底した分別をし、100%分別に成功している。
- ・ 教育が大切。あまりガチガチ縛られないで、義務感に捉われないで、自分の

性格が絡むこともあり、1人ひとりが参画し、生活を変えていこう。

- ・ ものの見方を変え、仲間を増やし、情熱を持ってまると循環型社会に。
- ・ 地球規模からではなく、足元から何ができるかを考えよう。
- ・ まず分別のルールをまもる。買物袋を持っていく。納得してからやる。今自分が続けているものの中からは会話が生まれる。芋掘りのように一つひとつ掘り進めていくことが大切。

\* NHK夢伝説 「沈黙の春」レイチェル・カーソン 6/18  
ゲスト：毛利衛，加藤登紀子

- ・ 以前愛大田辺信介教授の話をお聞きした時から、気になっていた著書。
- ・ 1962年に出版（4年間の歳月をかけた。乳がんと闘いながら）1964年死亡薬で鳥がやられて、春になっても鳥のさえずりが聞えないという汚染問題有害化学物質の問題を指摘した啓蒙の書
- ・ 虫の駆除のために散布していた魔法の薬と言われたDDTを、人間に、都市にと散布するようになり、1950年代に生態系への変化にきづく。
- ・ 科学技術にばかり目を向けていた当時、自然を出してきて、人々の考え方を一変させた。2週間でベストセラーになり、ケネディ大統領は、殺虫剤の問題を重く受け止めるが、農薬会社・化学薬品会社は害は昆虫と主張。
- ・ レイチェルは、虫を絶滅させるということではなく、別の道を探る。限界を知る、共存させる、と新たな提案をしている。（もしその虫に害があるとすると、昆虫がいやがること、音とか光とか天敵とか、自然に添った形で）
- ・ 地球の美しさについて深い思いをよせる人は、命の終わりの瞬間まで、生きていることが美しいと感じられる、これが人間として最高の幸せ
- ・ 子供たちに、神秘や不思議さに目をみはる感性を授けてほしいと・・・

毛利衛氏のことば

- ・ 宇宙で猿の細胞を見ていたとき、地球の表面と同じに見えた。地球全体が一つの細胞で意志がある。
- ・ 宇宙から地球を見たとき、富士山・東京湾が実にきれいに見えた。化学物質汚染は目では見えない。だから、よけいにこわい。
- ・ 宇宙から地球を見て、地球の表面に全ての生命がいるんだ。なーんだ人間もその一つじゃあないか。

先日、旅からの帰途、新幹線の車中で読んだ週刊誌の一頁に感動した。

西部劇のスクリーンで見かける荒れはてた大地。ネイティブ・アメリカンのナホバ族はそんな荒野に住む。先住民族は自然と寄り添うように暮らす。春になると、靴を脱いで大地を歩く部族もいる。身ごもった母親のお腹の上を土足で歩くなど、とんでもないことと考えるからだ。自然環境を先祖から受け継いだものでなく、子孫から借り受けたものと捉える思想は、米国全体の環境保護運動にも影響を与えてきた。

プラスチック類							紙類		缶類			びん類		
発泡スチロールトレイ			ペットボトル		その他の容器		紙パック		スチール缶		アルミ缶			
大	中	小	2リットル以上	それ未満	豆腐容器	卵パック	レジ袋	1リットル以上	それ未満	500ml以上	それ未満		500ml以上	それ未満
15円	10円	5円	55円	30円	7円	8円	3円	15円	10円	60円	30円	60円	30円	30円

(ごみ家計簿調査の包装容器金額 消費生活研究グループ調べ)

トレイ5~15円 ペットボトル30円、55円 びん30円

## ごみを買っている!?

# 包装容器代年2万円

## 1世帯 食費の3%超える

えひめ生活協同組合(松山市)の自主勉強会として、松山市と温泉郡の三十〜五十代の主婦が一九九九年に設立した同グループ。ごみ家計簿調査を始めたのは「資源の無駄を金額で実感できれば」との思いからだ。ごみ家計簿とは、調査を始めるに当たり、メンバーは企業や生協に主な包装容器の代金を聞き取り、金額を独自にはじき出した。発泡スチロールトレイ大十五円、ペットボトル二リットル以上五十五円、卵パック八円など。購入した商品のうち、包装容器を家計簿方式で記入、金額を推定してもらった。調査は昨年十一月の一カ月間、県内の百二十六世帯の協力を得て実施。この結果、一世帯(平均三・一人)当たりの、ご



イラスト・岡林美穂

み購入額は、実に千六百九十五円。食費五万四千二十二円の三・一四%で、年換算すると二万三千四百円にも上った。調査に協力してくれたのは、生協の会員など過剰包装に対して問題意識の高い人が多く、一般家

任者である主婦、山口彰子さん(松山市)は、調査を終えた今、こんな思いを強くしている。二人家族の山口さんが、一年間記録したごみ家計簿調査では、食費四十四万七千二百二十円に占める包装容器の金額は一万五千五百二十九円。食費の三・四七%だった。別のメンバーで主婦の山高善美さん(温泉郡重信町)は「中身とは関係ない包装容器を、お金を払って購入している。当たり前すぎて、無駄と感じる感覚が鈍っていた」。ばら売りで購入できる商品もあるが、消費者側に選択の余地がないものが多いのも現実で「企業に簡易包装を求める声を上げる必要性を強く感じた」とも。調査を終え、メンバーは「包装容器の多さを実感してもらった当初の目的は果たせた。自分たちの消費行動を変えようとする一つになれば」と願っている。同グループの活動を知り、ごみ家計簿をつけてみようという試みは、県内の学校現場や消費者グループの間で着々と広がっている。

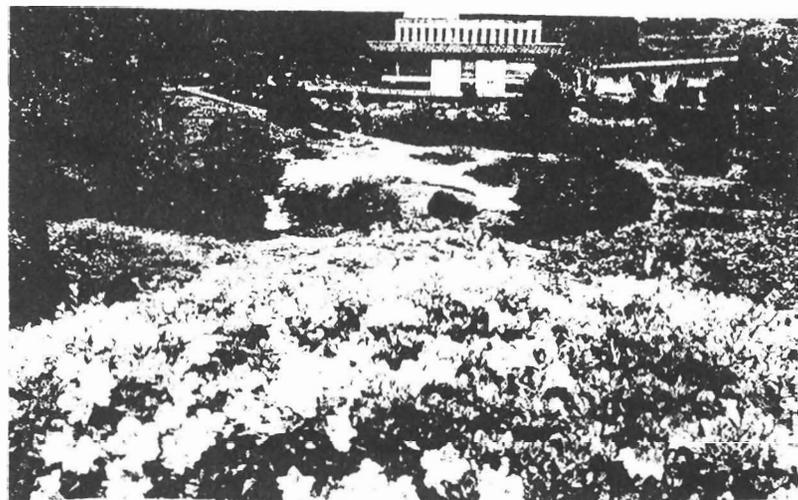
## 牧野富太郎

Tomitaro Makino (1862~1957) 植物学者



11

牧野富太郎博士は文久2年、現在の高岡郡佐川町の造り酒屋に生まれました。私塾などで高度な教育を受けていたこともあり小学校を2年で退学、土佐の豊かな自然に育まれながら、自然を師とし独学で植物の研究を続け、22歳で上京。東京大学植物学教室で植物分類学の研究に打ち込み、日本で初めて植物(ヤマトグサ)に学名を付けるなど、日本の植物学を世界のレベルにまで引き上げる業績を次々と残しました。晩年も研究への情熱は衰えず、集大成の書「牧野日本植物図鑑」は時代を超えて読みつかれています。95年の生涯において命名した新種や変種は約2,500種、全国踏査して集めた標本は約50万点にも及びます。没後、文化勲章受章。



牧野植物園は、高知県が生んだ「植物学の父」牧野富太郎博士を顕彰するため昭和33年に開園しました。園内には博士を生む土壌となった高知県の植物を中心に、博士ゆかりの植物など、約1,500種の植物が四季を彩っています。また本園の特色として、博士が研究のために私財を投じて蒐集した蔵書や植物画、直筆原稿など約58,000点を収蔵した牧野文庫があります。そして、これらの貴重な資料を紹介するための展示、研究、資料収集機能を合わせ持ち、植物に関する研究と生涯学習の場を提供する総合施設・牧野富太郎記念館が平成11年11月新設されました。人と自然の関係を大切にしたい安らぎと憩いの空間で、自然と共に暮らすことの豊かさを再発見していただければと思います。

## 牧野植物園を訪ねて

高知県立牧野植物園は、高知市五台山にある山の斜面を利用して創られた植物園でした。

この植物園を訪ねて、私は植物の事よりむしろ人の情熱のすごさを再認識させられました。

牧野博士の雅号は「結網」です。“ 古人いふあり。淵に臨んで魚を羨まんよりは、退いて網を結ぶに如かず。 ” という漢書の一節からとられたものです。意味は、「物事にのぞんで手をこまねいているより手段を見つけてまず実行する事」だそうです。

博士は植物に興味を持つと、自然の中を走り回って植物採集し、自分で名前を調べ、独学で植物学を修得していきました。又、自由民権運動の必要性を感じると、運動に積極的に参加し、“公正社”を立ち上げ、副社長をつとめました。

音楽にも関心を寄せて、その普及の為、自ら唱歌隊の指導をしたり、故郷の小学校へオルガンを寄付したりもしました。

博士は、雅号の通り、まず自らが実行する人だったので。

ところが、金銭的に支えてくれていた実家を整理しなくてはいけなくなり、経済的に行き詰まってきました。いかに牧野博士といえども、情熱だけでは植物学を続ける事が不可能と思われる時期もあったのです。

しかし、博士の情熱は幸運をよび寄せました。博士の窮乏を知った神戸の資産家が博士に惜しまない金銭的援助を提供してくれたのです。その人の援助で博士は再び植物学の研究に打ち込むことができました。そして、博士が借金返済の為、海外に売却を考えていた植物の貴重な資料等を日本に留めおく事ができました。

又、博士にはこのうえない理解者がいました。妻のすゑ子さんです。彼女は博士と十五才で結婚し、十五人の子を産みました。そのうち八人の子を病気等で亡くしましたが、七人の子を育て上げました。彼女は、夫が植物採集の為、長い間旅に出た時も、生活ができなくなる位の経済的苦労も厭わず、夫の学問と生活を支え家庭を守り続けたのでした。博士はそんな妻への想いを句に残しています。

家守りし妻の恵みや我が学び

まだ若くして亡くなった妻を博士が生涯愛し、自分が発見した植物に妻の名を付けた

のも彼女が夫を支え続けた情熱を思えば当然の事なのでしょう。

世の中のあらむかぎりやすゑ子笹

牧野博士は、今も読み継がれている「牧野植物図鑑」を書き上げ、日本が世界に誇れる偉大な植物学者になりました。牧野植物園にある展示館と記念館は、博士が九十五年の生涯持ち続けた情熱に出会える所でした。

(R. D)



蝶の本がやっとまとまりました。今から印刷所に出しますが、自己流にカラーコピーなどで仕上げたものは菊地宅に置いてありますので、いつでも見てください。まだ校正などで時間がかかりますが、7月中には完成すると思います。

<題>

## 蝶のくる庭

### 自然豊かな庭づくりと蝶のワークブック

<目次>

- はじめに
- 私のつくった小さな自然観察園
- 庭に蝶を呼ぶために
- 身近な蝶たち61種
- 観察ノート
  - ・庭で見た生き物たちのリスト
  - ・蝶の好きな花
  - ・季節ごとの自然観察
- コラム「クワガタムシを追って十万里」
- おわりに

<監修・原稿資料の提供> 楠先生

\*\*蝶の好きな花(ニオイスマレ、ショカツサイ、ヒオウギ、サンジャクバーベナ、ブッドレア)の種又は苗がありますので、よければ次の例会に持っていきます。\*\*

5/8  
 まず松山地区7団体へ  
 伊予銀の地域文化活動助成金



水木会長から目録を受け取る  
 助成先団体の代表

地域で文化活動を継承し  
 ている団体に活動経費の一  
 部を助成する伊予銀行の  
 「地域文化活動助成制度」  
 の松山地区助成金贈呈式が  
 七日、松山市南堀端町の同

行本店であった。

松山地区の助成先七団体  
 の代表一人ひとりに水木儀  
 三・伊予銀行会長が目録を  
 手渡した後、審査に当たっ  
 た伊予銀行文化振興顧問団  
 の三木吉治委員長（愛媛大  
 名誉教授）が「これからも  
 伝統や文化を継承する活動  
 を続けてください」と祝辞  
 を述べた。

八日は今治、九日は八幡  
 浜、十日は宇和島、十一日  
 は新居浜で贈呈式があり、  
 二十二団体に計四百七十万  
 円が助成される。助成制度  
 は一九九二年以降、年二回  
 実施、これまで三百七十九  
 団体に計七千三百六十万円  
 を助成している。  
 助成先に選ばれたのは次  
 の皆さん。

- 【音楽分野】東雲コーラ  
 ス（松山市）混声合唱団M  
 C・メイツ（砥部町）琴名  
 流大正琴琴扇姫会（新居浜  
 市）真鍋豊平一絃琴保存会  
 （土居町）箏・絹の会（野  
 村町）【郷土芸能分野】平  
 田獅子舞保存会（松山市）  
 喜多山獅子保存会（大洲市）  
 豊茂越後獅子「矯正会」（長  
 浜町）柱が森三島神社獅子  
 舞保存会（内子町）延喜獅  
 子舞保存会（今治市）松山  
 神社奴踊り保存会（松山市）  
 小浜道具踊り伝承の会（中  
 島町）下波地区お伊勢踊り  
 保存会（宇和島市）魚成地  
 区実盛送り保存会（城川町）  
 小原五つ鹿踊り保存会（宇  
 和町）船越地区五つ鹿踊り  
 保存会（西海町）井口たん  
 じり保存会（上浦町）吉田  
 町おねり保存会（吉田町）  
 【創作芸能分野】菊間太鼓  
 保存会鼓菊連（菊間町）喜  
 左衛門狸の会（東予市）【郷  
 土史分野】灘町・宮内邸を  
 守る会（伊予市）【生活文  
 化分野】重信町VTCの学  
 習会（重信町）

マダガスカルについての知識を深めた  
国際交流サロン



# マダガスカルの "素顔"を知って

松山留学生と市民交流

四国でただ一人のマダ  
ガスカルからの留学生ラ  
ザフィンラベ・バム・ハ  
ジャ・ニリナさん(左)と  
交流しながら同国への理  
解を深める国際交流サロ  
ン「マダガスカルを知る  
う」が九日、松山市三番  
町六丁目のコムズであっ  
た。  
国際交流サロンは、ま  
つやま国際交流センター  
が市民グループに場を提  
供するなどして年六回開

催。今回は市民グループ  
CASが主催、三十五人  
が参加した。

ラザフィンラベさん  
は、愛媛大学農学部で学  
ぶため四月から松山市に  
住んでいる。同日は、十  
八の民族が住むことや人  
口の八割が農業従事者で  
あることなど、同国の現  
状を紹介。約二千五百年  
前にアジアの人々が移り  
住んだという国の起源や  
熱帯雨林の減少について  
も話した。

和やかな雰囲気の中、  
参加者は教育制度などに  
ついて自由に質問。ラザ  
フィンラベさんは「あり  
のままのマダガスカルを  
知ってもらいたいと思っ  
た。関心を持ってもらえ  
たようでうれしい」と話  
していた。

## 出会い塾 マダガスカル留学生 バムさんを迎えて

6月8日（金）バムさんを迎え、20人近くの参加でにぎやかな交流会が行われました。マダガスカルといえば、以前、「デルネス」コンサート（井戸端だより20号掲載）に出かけたこともあったし、自然科学や紀行番組が好きな私にとってとても魅力的な国です。

アフリカ大陸から1億年くらい前に分離したと考えられるこの国には、バオバブの木（現地では神の木として切ってはいけないそうです）や、この島特有の性質をもつ野生生物も多く、特に、歌で御馴染みのアイアイ・横跳び移動で知られるインドリの仲間などのキツネザルは良く知られています。近海には、生きた化石シーラカンスも生息しています。

そんな自然いっぱいの国からの留学生バムさんは、首都アンタナナリボで生活するシティボーイなのです。今日の資料として日本語でレジメを作ってくれる程、日本語も大変じょうずです。（松山へ来られる前、大阪にいたのだそうです）

国内の民族が18あり、島の北＝アラブ系 中央＝アジア系 南＝アフリカ系と大きく分けられ、バムさんはアジア系なのだそうです。人口の80％は農業でくらし、米を主食としているところなどはとても親密感が持てます。経済面で観光は大切で日本人の観光客も年々増えているそうです。ビデオ・本などの資料、民族衣装・雑貨品（カラフルなかごバック・布など）等様々な品を見せてもらいました。特に不思議な慣習として、遺体を掘り起こす儀式があり「死者の寝返り」と呼ばれ、遺体の死に装束を新しくし、行列を作って練り歩くのだそうです。

話題が多くてもっと一杯聞きたいことがあったのですが、バムさんが心配していることは、森林破壊・環境問題（浸食・汚染）だそうで、そのためにも、今、一生懸命勉強を頑張っているのでしょう。まだ、2・3年こちらに滞在しているそうなので、チャンスがあれば、又、お会いできることを楽しみにしています。

（A・M）

## 話題の歴史教科書を読みました。

記述が熱い。時には、その場面が目には浮ぶような劇画調の表現。大人でも知らなかった様々な興味をひくエピソード。これまでの教科書とは、趣が違う。ご存知、扶桑社の『新しい歴史教科書』。  
市販本の「市販本まえがき」にこうある。

この教科書をターゲットにした批判は総じて叙述の細部に向けられている。しかし、文章の叙述は全体の流れにその生命がある。全体を無視して、部分だけをとりあげてあげつらうなら、正しい批判にはならないだけでなく、不当な意図的攻撃に終わりがちである。と

しかし、私は感情の入ったこの情熱的？な全体の流れもに首をかしげる。教科書とは、このように熱く語るべきものなのか。  
確かにこれまでの教科書は、味も素っ気もない文章で、例えば戦争についてもまるで他人事のように、自然に起こったかのような書き方だった。しかし、それに様々なエピソードなどを加えて、命を吹き込んでいくのが教師の役割ではないか。その上で、一人一人にその出来事のもつ意味や重みを考えさせ、今後の日本、そして自分の生きる方向性を考えていく過程が大切なのではないだろうか。

本の最初に「歴史を学ぶとは」というページがある。一部を紹介する。

歴史を学ぶとは、今の時代の基準からみて、過去の不正や不公平を裁いたり、告発したりすることと同じではない。過去のそれぞれの時代には、それぞれの時代に特有の善悪があり、特有の幸福があった。

歴史は、民族によって、それぞれ異なって当然かもしれない。しかしそうなると、気持ちが落ち着かず、不安になるであろう。だが、だからこそ歴史を学ぶのだともいえる。

歴史を固定的に、動かないもののように考えるのをやめよう。歴史に善悪を当てはめ、現在の道徳で裁く裁判の場にするのもやめよう。歴史を自由な、とらわれのない目で眺め、数多くの見方を重ねて、じっくり事実を確かめるようにしよう。

教科書の内容であるが、これは他の出版社と比べて非常に詳しい。殊に日本史の内容では高校レベルで習うもの、また一般の大人でも知らないものまで含んでいる。人名さくいんでは260名、事項さくいんでは、729の記述があり、中学生向けとしてここまで詳細なものはない。神武天皇の東征伝承や日本武尊と弟橘媛の言い伝えなど神話に多くの紙面を費やしたり、昭和天皇についても2ページ掲載されている。また、現代史についてかなり力を入れており、2000年から憲法調査会が設置され、日本国憲法の調査が始まったという文まである。反面、世界の歴史についてはどうだろう。他の教科書では扱っている宗教改革についての記述はない。四大河文明、産業革命や市民革命についても十分な記述とは思えない。

その他、細部の記述について、アジアの国々や沖縄の人々からクレームが付けられているのは周知の通りである。

そして、本の最終に「歴史を学んで」というページがある。一部を紹介する。

日本の歴史を今、学習し終えたみなさんは、日本人が外国の文化から

学ぶことにいかに熱心で、謙虚な民族であるかということに気がついたであろう。外国の進んだ文化を理解するために、どんな努力もしてきた民族であった。——略——

日本は永い間、文化的にそういう意味で安全で幸せな国だった。ところが、ここ半世紀は必ずしもそうとはいえない時代になってきた。

——略——

全土で70万人もの市民が殺される無差別爆撃を受け、原子爆弾を落とされた。戦後、日本人は、努力して経済復興を成し遂げ世界有数の地位を築いたが、どこか自信をもてないでいる。

本当は今、理想や模範にする外国がもうないので、日本人は自分の足でしっかりと立たなくてはいけない時代なのだが、残念ながら戦争に敗北した傷痕がまだ癒えない。

日本人が、これからもなお、外国から謙虚に学ぶことはとても大切だが、今までと違って、深い考えもなしに外国を基準にしたり、モデルに見立てたりすることで、独立心を失った頼りない国民になるおそれが出てきたことには、警戒しなくてはならない。

何よりも大切なことは、自分をもつことである。自分をしっかりとたないと、外国の文化や歴史を学ぶこともじつはできない。「新しい歴史教科書」を学んだみなさんに、編者が最後に送りたいメッセージはこのことである。

私は、他の教科書とも比べてみようと思い、庁舎の教科書展示室へ足を運んだ。そこには、学習内容3割削減を受けて、挿絵や写真の多い大判化された薄っぺらい教科書があった。かつて使った面白味のない、しかし内容は豊富にあったあの不愛想な歴史教科書が、今はなつかしい。教科書展示は庁舎の4F404会議室で7/11まで開催している。

2000年度くらしの学習会会計報告 (2000.1~12)

収入の部 (円)

前年度繰越金	58,801
会費	51,000
カンパ	6,400
絵はがきカンパ	3,900
利子	268
収入合計	120,369

支出の部 (円)

会報用紙代	4,697
コピー代	500
切手代	3,800
封筒	321
おさんぽ会	
保険料	4,500
おやつ代	1,000
材料費	400
講師料	5,000
公開質問状郵送料	1,400
支出合計	21,618

差引残高 120,369 - 21,618 = 98,751 (次年度繰り越し)



今後の予定

7/23 (月) 1:30~町民会館

合併問題について、役場の方と懇談会を行います。

地区別の懇談会も終わった後なので、町民からどのような意見が出たかお聞きすることもできます。興味のある方、ぜひご参加下さい。

くらしの学習会では、随時会員を募集しております。

活動会員 2,000円/年 購読会員 1,000円/1年

振込口座番号 (郵便局) くらしの学習会 (01610-5-21026)

問い合わせ先: 電話・ファックス 089-964-6956